

がつ ごう

No.157 ホー

2026 ねん 1月号

# Hoot

としょかんカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

はおやすみ

担当：才

こんげつ もよお  
今月の催し

ととけっこおはなし会

0～3さいむけ

えほんと手あそびのおはなし会

としょかんおはなし会Qぽくぽく

～うまだしSPECIAL～

1月 9日 (金) · 25日 (日)  
11:00～11:20 【3F視聴覚ホール】

まめまめわらべうたの会

あかちゃんといっしょに

きせつのわらべうたであそびましょう

1月 11日 (日)  
11:00～11:30 【3F視聴覚ホール】

「ロバくんのみみ」(えほん)／じゃこかい(おてだま)ほか

としょかんおはなし会

えほんと手あそびのおはなし会

1月 17日 (土)  
11:00～11:20 【3F視聴覚ホール】

ゆきとおもちのわらべうた

ぽくぽく すぐろく・かるた会

2026年1月18日(日) ごご1:30～

としょかん 3かい 視聴覚ホール

絵本や物語の主人公たちが登場する

かるたとすぐろくで遊びましょう！

ころころ まめまつり

2026年2月1日(日)

せつぶん 節分にちなんだ、おはなし会などの

イベントです。オニがくるかも！？

くわ 詳しくはチラシをみてね。

# あたらしくはいったほん

かだし中のときは「よやく」しておくことができます。

## [やさしいえほん]



### 「さかなをたべたあとのはね」

加藤休ミ／さく

福音館書店（やさしいE本 E/24/サ）

じゅうっとやいた、イワシをたべます。  
あとにのこるのは、わしゃわしゃ、ほそいほね。  
いろんなさかなの、いろんなほねを見てみましょう。

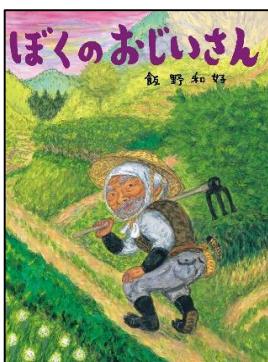


### 「冬にやってきた春と夏と秋」

ジョナサン・フリードランド／文 エミリー・サットン／絵

さくまゆみこ／訳 德間書店（E/32/7）

冬の王様は、誕生日に、長い間あっていないきょうだい達を呼ぶことにしました。春の女王、夏の王、秋の女王です。太陽や風、草や木が止めましたが、王様は聞く耳を持ちません。四つの季節が同時に訪れた世界はどうなってしまうのでしょうか。



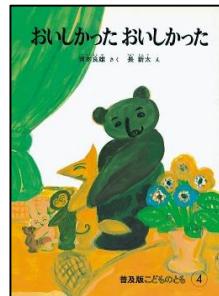
### 「ぼくのおじいさん」

飯野和好／作

偕成社（E/30/ホ）

いつも畠仕事をしている、ぼくのだいすきなおじいさん。明治の時代に生まれたおじいさんは、しわがいっぱい。山の中で暮らす、ぼくとおじいさんの日々を描いた絵本です。

## [えほん]



### 「おいしかったおいしかった」

岡本良雄／さく 長新太／え

福音館書店（E/26/オ）

クマは、ぶどうを持って病気のキツネのお見舞いに向かう途中、お腹を空させたサルに会います。ぶどうを半分もらったサルは、近道して自分もキツネのお見舞いにいこうとしますが……？



### 「ひぐま」

あべ弘士／作

ブロンズ新社（E/26/ヒ）

秋。森はドングリ、ヤマブドウ、キノコでいっぱいです。冬に備えて、ひぐまはとても忙しそう。たくさん食べて、冬眠のために栄養をつけないといけません。寒くなり、雪が降ります。ひぐまはどうしているのでしょうか。



### 「おばけのキルトのすてきなクリスマス」

リール・ネイソン／文 パイロン・エッゲンシュワイラー／絵

石井睦美／訳 光村教育図書（クリスマスの本 E/29/オ）

12月の夜。おばけのキルトは、にんげんの町を訪れました。そこで目にしたのは、色とりどりの光と、にぎわう人々。キルトは、家にいる友だちに、ツリーを見せようと考えます。

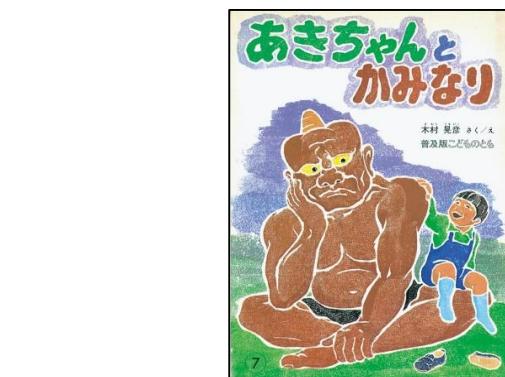


## 「クリスマスにはくつしたをおわすれなく」

角野栄子／さく 菊池恭子／え

福音館書店 (E/26/ク)

ナナさんは、編み物屋さんです。冬になると、サンタクロースにプレゼントを入れてもらう靴下の注文を受けています。今年も、たくさんの森の動物が靴下を頼みにやってきました。



## 「あきちゃんとかみなり」

木村晃彦／さく・え

福音館書店 (E/26/ア)

あきちゃんは、とてもよわむしで、いつも泣いています。あきちゃんの泣きごえを聞きつけて、空からかみなりが降りてきました。あきちゃんのおへそを取りにやってきたのです。

## [ちしきえほん]



## 「たねはいのちのおわりとはじまり」

鈴木純／著

ブロンズ新社 (ちしき絵本 E/27/タ/4)

地面に落ちた種から、上へ葉っぱが、下へ根っこがのびていきます。一年で枯れる小さなナズナも、長く生きて大きくなるケヤキも、一粒のたねからいのちが始まります。



## 「そらのにじいろ」

荒木健太郎／文・写真・絵

金の星社 (ちしき絵本 E/25/ソ/4)

雨が降っていないのに、空に現れるにじ。彩雲、光環、環水平アーク、ハロ……、晴れた空に浮かぶ珍しいにじの種類や、その仕組みを写真で解説します。

## [にほんのものがたり]



## 「花に風」

吉野万理子／作

理論社 (K913/ヨシ)

夏帆は小学四年生。最近通い始めたいけばな教室に、ちょっと苦手な六年生の先輩がいます。いけばなのレッスンは楽しいのに、先輩から花のいけ方や態度を指摘され、もやもやの日々。そんな中、華道の発表会で先輩と同じ班になってしまい……？



## 「チング！ 夏のともだち」

八束澄子／作

小峰書店 (K913/ヤツ)

夏休み、ひょんなことから父親と二人で韓国へ旅することになった、小学五年生の幹太。目的地は、世界遺産の山があるチェジュ島です。長距離バスやフェリーを乗り継ぐ韓国縦断の旅で、幹太はたくさんの人や文化に触れます。

## [ちしき]



### 「わたしは書体デザイナー」

高田裕美／著

Gakken (K007)

わたしたちの身の回りにはたくさんの文字があふれています。  
この文字を、使われる場面を思い浮かべながら、同じ雰囲気を  
もたせてデザインしたものを「書体」といいます。書体は  
どのような思いで作られているのでしょうか？



### 「生きものとくらそう！ 7 ハムスター」

国土社編集部／編集 三輪恭嗣／監修

国土社 (K645)

かわいい  
かわい  
かた  
むずか  
かい  
ちい  
おくびょう  
どうぶつ  
ほん  
なかよ  
しきく  
にんき  
むずか  
しょ  
ほん  
なまこ  
飼い方  
難しく  
ありません。  
しかし、  
ハムスターは小さく、  
臆病な動物です。  
この本でハムスターと仲良くなるコツを  
つかみましょう。



### 「働く現場をみてみよう！大きいもの・小さいものをつくる仕事を」

パーソルホールディングス株式会社／監修

保育社 (K366)

め  
み  
ちい  
みあ  
おお  
目には見えないほど小さな物から、見上げるほど大きなもの  
まで、大小を問わず、それぞれの技術者たちの工夫や  
情熱が注がれています。大きさをこえた「ものづくり」の  
世界をのぞいてみましょう。



### 「開運えんぎもの図鑑」

高野紀子／作

あすなろ書房 (K387)

よ  
お  
ねが  
こ  
ものごと  
さ  
えんぎ  
もの  
わたし  
せいかつ  
ふか  
ねづ  
まね  
ねこ  
縁起物は私たちの生活に深く根付いています。だるま、招き猫、  
おせち料理などの目に見えるものから、縁起のいい数字、色、  
音など……全250種類の縁起物をイラストで紹介します。



### 「子どもに伝えたい和の技術 木工」

和の技術を知る会／著

文溪堂 (K502)

むかし  
わざ  
みやくみやく  
うつ  
しんか  
もっこうぎじゅつ  
昔ながらの技を脈々と受け継ぎ進化させてきた木工技術。  
現在では、コンピューターと機械を活用した新しい木工も盛ん  
で、用途や目的に応じて選択の幅が広がっています。木工の  
種類や歴史、技を知り、日本文化の奥深さを感じましょう。



### 「痛みって何だろう？」 人体のひみつをさぐろう

加藤実／監修

PHP研究所 (K491)

いた  
しょう  
でんたつ  
いた  
からだ  
痛みはどのように生じ、伝達されるのか。その痛みを体は  
どのようにして抑えているのか……など、  
痛みについてわかりやすく解説します。